

(公財)京都市国際交流協会	平成29年度経営計画 兼 経営努力結果
----------------------	--------------------------------

基本事項

所管局課	総合企画局国際化推進室	本市出えん金	100,000 千円
基本財産/資本金	100,000 千円	本市出えん率	100.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	存続	目標年度	—
-----	----	------	---

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	京都市国際化推進プランに即した事業促進を進める事を基本とし、協会の20周年時に策定した「20歳の誓い・10年プラン」に明記されている「誰もが社会の一員として、自分の意見や想いを自由に伝えあう事ができる社会」「誰もが世界の人のつながりを実感できる社会」を理想の社会として、その社会の構築のための事業を実施する。
財務面	協会の財務基盤の強化のため、協会収入の多くを占める指定管理料だけではなく、補助金や助成金・寄付金など他の収入増加のための努力を続ける。
組織面	協会運営を担える人材の育成に力点を置く。
その他	特になし

当年度の取組目標に対する意見

所管局	<p>これまで、入館者数、イベントセミナー参加者数は中期経営計画の目標値を大幅に上回って推移しており、積極的な取組をされていることは評価できる。平成29年度も引き続き、目標値を超えられるよう努力していただきたい。</p> <p>財務に関する取組では、他団体からの寄付金などの獲得をはじめ、委託事業の受託、自主事業の充実を進め、指定管理業務外の収入源を確保することを積極的に行っていただきたい。</p> <p>組織に関する取組では、職員の能力を高めることはもちろん、外郭団体の職員であることを強く意識してもらうための自主的な研修も行っていただきたい。</p>
-----	--

当年度の取組に対する総括(※)

団体(※)	<p>利用料金収入や自主事業収益については最高水準であった昨年並みに確保することができ、セミナーイベントへの参加者数も比較的新しい事業である「企業等コラボ事業」により大幅に増加させることができた。</p> <p>「ボランティア事業」は、ボランティア数及びイベント開催回数ともに目標値には及ばなかったが、今後は活動における質を高めるために顔の見える関係を重視し、ボランティアの自主性が発揮できる環境を作ることにより協会の規模や活動スペースに見合った事業を安定的に実施できるように取り組む。</p> <p>補助金収入は、目標値を下回ったが、10周年を迎えた行政通訳相談事業に民間から助成を得ることができ、親子参加型イベント、関係機関及びNPOとの連携会議、「多文化子育てハンドブック」の作成等、在住外国人の子育てを支援する大変意義深い重要な取り組みができた。今後も協会の自主事業実施のため、補助金収入の増加の努力を続け、寄付金についても目標を下回っているため寄付者が寄付しやすい環境づくりを検討し増収を図る。</p>
所管局(※)	<p>イベントホールの吊物一部改修工事などがあり、貸館業務に制限がかかっていた中でも、来館者数及び利用料金収入を大幅に落とすことない運営は評価できる。</p> <p>平成29年度の当期経常増減額約800万円の赤字の原因は、退職金引当によるところが大きい。前年と比べて著しく経営状況が悪くなったわけではない。とはいえ、補助金や寄付金収入の増加、事業の効率化による支出抑制等を行い、黒字で終わられるよう健全な運営を目指し一層の努力を求める。</p>
外郭団体総合調整会議(※)	<p>積極的に魅力的な自主事業を実施しており、本市から管理を受託する京都市国際交流会館についても計画を上回る来館者数を確保している。</p> <p>一方で、財源の多角化のために目指した補助金・寄付金等の確保については、計画を下回る実績となっている。</p> <p>引き続き、来館者数の増加に取り組むとともに、利用料金収入の増加や寄付金等の確保により本市に依存しない財務基盤を確立していく必要がある。</p>

(1)業務に関する取組

目標1 「施設利用者の拡大」	
中期経営計画 における取組	「春!kokokaおもてなし広場」(岡崎地域の活性化のために運営をされている京都岡崎魅力づくり推進協議会との連携事業)をはじめ、協会が従来から実施してきた事業とは別に、前庭や応接室など有料施設以外の施設の有効利用等により来館者の増加を図る。また従来から実施している事業をより充実させ、利用者の年齢層拡大を目指し在住外国人をはじめ留学生、市民に利用しやすい施設運営を行う。
当年度目標	京都岡崎魅力づくり推進協議会との連携事業である「春!kokokaおもてなし広場」など協会が従来から実施している事業に加え、前庭を活用し来館者の増加を図る。また、従来から実施している事業をより充実させ、利用者の年齢層拡大を目指し、在住外国人をはじめ留学生や市民にとって利用しやすい施設運営をおこなう。 従来から実施している小規模国際会議の誘致については、引き続き、京都市の観光MICE推進室をはじめとした関係部署と連携し、積極的に行っていく。
当年度結果 (※)	入館者数は、前年度の実績には及ばなかったものの当初の目標値を上回ることができ、イベント参加者数では、協会のブランド力を活かした「企業等コラボ事業」や近隣施設との連携事業である「春!kokokaおもてなし広場」等で会館の持っているリソースを積極的に活用し、イベント参加者の大幅増につなげることが出来た。

指標①	入館者数の増加 (単位:人)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		267,000		269,000		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	254,801	262,000	286,726	267,000	285,650	269,000	—	274,962

指標②	セミナーイベントへの参加者数 (単位:人)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		33,630		33,973		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	32,566	33,287	57,319	33,630	87,749	33,973	—	115,271

(公財)京都市国際交流協会	平成29年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

目標2 「国際交流や多文化共生に携わる市民や民間団体の育成・支援」

中期経営計画 における取組	市民がボランティア活動に主体的・自主的に関わることで、京都の国際化や共生社会について考える契機となり、誰もが住みやすい地域社会を作っていくため、担い手の支援を行う。
当年度目標	目標として掲げている、登録数の増加を目指すことはもちろん、ボランティアの方々がやりがいを感じていただけるような活動内容を構築するため、意見交換ミーティング等を実施していく。 また、実施するイベントについては、多くの方々に御参加いただけるよう、件数を増やすことはもとより、御協力いただくボランティアの方々にとっても有意義で充実した内容にしていく。
当年度結果 (※)	延べ686名が13種類のボランティアに登録し、定期的に活動に参加している。 また、単発イベントの活動として「kokokaオープンデイ」には、当日のみ参加するボランティアを含め326名が参加し、さらに「ボランティア人材育成講座」には48名が参加した。 講座に参加したボランティアが広く地域住民などが参加できるイベントの自主企画として、写真展とスマートフォン写真講座、ボランティア募集オリエンテーションを企画・開催、地域社会の国際化の担い手育成にもつながった。 またイベント開催回数については、京都市教育委員会からの市立小中学校日本語ボランティアの派遣依頼数が減ったため減少した。

指標①	登録ボランティア数 (実数) (単位：人)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		500		500		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	473	500	484	500	461	500	—	458

指標②	登録ボランティア主催イベント開催回数 (単位：回)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		4,000		4,000		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	4,015	4,000	3,872	4,000	3,576	4,000	—	2,868

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	282,502	276,221	287,190	284,034	286,332	282,065	
経常費用	303,742	293,072	306,354	280,244	306,352	290,414	
当期経常増減額	△ 21,240	△16,851	△ 19,164	3,790	△20,020	△8,349	
当期正味財産増減額	△ 21,240	△16,851	△ 19,164	3,790	△20,020	△8,349	
資産合計	—	376,097	—	365,823	—	371,196	
負債合計	—	117,448	—	103,384	—	117,106	
正味財産	—	258,649	—	262,440	—	254,090	
うち累積損益額	—	158,649	—	162,440	—	154,090	

目標1「補助金・助成金の増収」	
中期経営計画における取組	協会の基盤整備のため、協会収入の多くを占める指定管理料だけではなく、補助金や助成金など他の収入増加のための努力を続ける。
当年度目標	協会の基盤整備のため、協会収入の多くを占める指定管理料だけではなく、助成金や事業委託料(指定管理料を除く)など他の収入増加のための努力を続ける。
当年度結果(※)	目標は下回ったが民間助成金を受け、行政通訳相談事業の10周年事業を実施し、親子参加型イベント、関係機関及びNPOとの連携会議、「多文化子育てハンドブック」の作成等、在住外国人の子育てを支援する大変意義深い重要な取組ができた。

指標	補助金							
	(単位:千円)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		21,000		21,000		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	18,172	20,687	15,945	21,000	16,164	22,000	—	18,795

(公財)京都市国際交流協会	平成29年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

目標2「寄付金・協賛金の増収」	
中期経営計画 における取組	<p>企業とのコラボレーション事業を積極的に促進させ協賛金の増収を図る。 従来から協会への寄付は募っていたが、寄付者が寄付をしやすいシステムを再検討し、各事業及び協会への寄付の受け入れ範囲を拡大させ増収を図る。 例えば、企業のCSR活動に働きかける、遺贈など寄付対象者を広げるための周知等が想定される。</p>
当年度目標	<p>企業・団体とのコラボレーション事業を増やし、協賛金の増収を図る。 税額控除対象団体であることを活用した寄付金の獲得方法を再度検討し、改めて増収につながるよう努める。</p>
当年度結果 (※)	<p>寄付収入はホームページやパンフレットでアピールし、わずかだが増加した。その他、企業コラボの積極的な誘致の結果、コラボ協賛金は平成27年度1,656,200円から平成29年度3,102,793円と大きく増加した。</p>

指標	寄付金の増収 (単位：千円)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		2,500		2,700		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	1,437	2,300	3,334	2,500	1,118	2,700	—	1,261

(3)組織に関する取組

目標1「職員の能力向上」	
中期経営計画における取組	限られた人数による効率的な運営を目指す。そのために有料無料を問わず職員の研修参加回数を維持し、職員の能力向上を図る。 また、職員の退職に伴う補充の際に十二分に将来戦力となるべき人材を確保する事に努める。
当年度目標	新たに採用した職員に対し、外郭団体職員としての能力向上のために、京都市が開催する職員研修にも積極的に参加する。 限られた人数による効率的な運営を目指して、有料無料を問わず職員の研修派遣回数を増やし、職員の能力向上を図る。
当年度結果 (※)	目標値には達することは出来なかったが、京都市・京都商工会議所・CLAIR（自治体国際化協会）・JIAM（全国市町村国際文化研修所）などの研修を積極的に活用し、前年度を上回る数の研修に参加し職員の能力向上を図った。

指標	職員研修派遣回数 (単位：回)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		30		30		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	24	30	27	30	28	30	—	29

目標2「他団体への派遣職員」	
中期経営計画における取組	平成26年度までに4名を他団体に派遣しているが、今後も継続して派遣を検討し、職員の能力向上を図る。
当年度目標	引き続き職員派遣を検討し、職員の能力向上を図る。
当年度結果 (※)	他団体への職員派遣は様々な条件をクリアすることが難しく近年実施できていないため、今後は、社会状況の変化や利用者のニーズに応えられるよう、他団体との合同研修や職員間での勉強会を検討する。

指標	派遣人員 (単位：人)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	—		1		1		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	0	1	1	1	0	1	—	0